

平成 24 年 5 月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成 24 年 5 月 22 日 (火) 午後 2 時 40 分 ~ 午後 3 時 45 分

2. 場 所 岸和田市立公民館 2 階 講座室 2

3. 出席者

委員長 坂田 忠義 委員長職務代理者 毛利 高二
委員 川岸 靖代 委員 中野 俊勝 教育長 永本 定芳

4. 事務局出席者

教育総務部長	板東 正人	学校教育部長	岸田 隆博
生涯学習部長	植原 和彦	理事兼生涯学習課長	森 幸子
総務課長	藤原 芳治	学校管理課長	門林 啓之介
学校教育課長	植田 和幸	人権教育課長	篠本 治久
スポーツ振興課長	元廣 秀晴	郷土文化室長	南 美恵子
図書館長	佐藤 正	総務課参事	大西 謙次
総務課参事	中野 忠一		

開会 午後 2 時 40 分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に毛利委員長職務代理者を指名した。
傍聴人 0 名。

報告第 25 号 岸和田市教育委員会後援名義使用許可申請状況について(平成 23 年度申請受付分)

坂田委員長

報告第 25 号岸和田市教育委員会後援名義使用許可申請状況(平成 23 年度申請受付分)については、書面での報告です。何か意見等ございませんか。

藤原総務課長

本件は、岸和田市教育委員会の後援に関する規定に基づき、教育、学術、文化及びスポーツのために任意の団体又は個人が自主的に行なう諸事業に対し、開催責任者から申請があった場合に後援することができるもので、平成 23 年度は、128 件の後援名義使用許可申請があり、許可いたしました。平成 22 年度は 128 件、平成 21 年度が 111 件、平成 20 年度が 121 件の申請がありました。

報告第 26 号 平成 23 年度生徒指導状況について

坂田委員長

次に、報告第 26 号平成 23 年度生徒指導状況について事務局から説明をお願いします。

植田学校教育課長

この報告書は、各学校における生徒指導状況を集約し、本市における問題行動の動向を捉え、今後の指導に役立てるための資料でございます。小学校、中学校別に不良行為等の問題行動、いじめの認知件数、不登校の件数についてまとめたものでございます。問題行動等の低年齢化が進み、また中学校においては心因性による不登校が増えてきております。現在、教育相談室やスクールカウンセラー等の関係機関と連携をとりながら組織での対応に努めているところです。

坂田委員長

説明が終わりました、何かご意見、ご質問はございませんか。

中野委員

各学校においては児童生徒の人権に配慮しながら問題行動等の指導にあたられていると思いますが、問題行動等の低年齢化については、各小学校において学校全体での指導ができるよう校内研修の充実が不可欠ではないかと考えます。また、いじめの問題については、目に付かないところで進むケースが多いことから学校、家庭、地域での連携をとり、アンテナをはっておくことが重要であり、不登校の問題については小中連携を強化し未然防止に努めることが大事であると考えます。

坂田委員長

中学校においては心因性による不登校が増えていますが、どのような対応をこころがけていますか。

植田学校教育課長

学習面でも生活面においても、自分の居場所があるという安心感が、学校に登校できる第一歩であると考えますので、各学校においては原因の分析と同時に、児童生徒の居場所作りについて学校全体での指導に努めているところです。

現在、小学校と中学校とのいきいき連携という取組みを行なっています。これは、4月当初不安定な生徒がいる場合、小学校で関わった先生が中学校に出向いて声かけなどをおこなうことによりスムーズにスタートできるような取組みを行なっています。また、中学校の先生が小学校に出向き子ども達とのつながりを作るような取組みもしており、これらの取組みを広げていくように考えております。

報告第 27 号 平成 23 年度岸和田市立中学校卒業生の進路状況について

坂田委員長

次に、報告第 27 号平成 23 年度岸和田市立中学校卒業生の進路状況について事務局から説明をお願いします。

篠本人権教育課長

平成 23 年度岸和田市立中学校卒業生の進路状況は、卒業生 2,099 名のうち、全日制高等学校、定時制高等学校、高等専門学校等に進学した者は 2,040 名で 97.2%、就職した者は 6 名で 0.3%、専修学校等へ行った者が 39 名で 1.9%、その他が 16 名で 0.8%となっています。

全日制高校に進学した者のうち公立高校への進学率は、平成 23 年度 67%、平成 22 年度 71%、平成 21 年度 74%となっており、公立学校への進学率は年々減少し、市立学校への進学が増加している傾向にあります。これは、高等学校授業料無償化の影響が大きいと考えられます。また、定時制課程に進学した生徒は 52 名で全体の 2.5%となっており、近年減少傾向にあります。

永本教育長

さきほどの、生徒指導状況の報告のなかで中学生の不登校の生徒が増えているとの報告がありましたが、進路状況のなかで進路未定の生徒がほとんどいないということは、学年が進むにつれて不登校の生徒が減っているということでしょうか。

植田学校教育課長

不登校であった生徒が、高校進学を目指したときに自分自身を変えるチャンスと捉え、ほとんどの生徒が不登校の状況乗り越えていくようです。

植原生涯学習部長

最近、高等学校での受入態勢が柔軟になり、受験のチャンスを与えてくれる学校が増えてきている状況も一因にあると思います。

中野委員

進路指導に関して、来年度の公立高校入試制度の概要が発表されており新たな要素が入っている状況のなか、きめ細かい進路指導が必要になってくると感じます。また、平成 26 年度入試に予定されている学区撤廃に関連して、内申書の成績評価について相対評価から絶対評価への変更などについても注視して対応の検討を始めていくほうが良いように考えます。

永本教育長

高校入試に使われる内申書の評価については、大阪府以外はずでに相対評価から絶対評価に切り替わっている状況の中、大阪府についても絶対評価に切り替わっていくと思います。絶対評価は、生徒間の学力差を反映しやすいというメリットがある反面、学校ごとに評価にばらつきがあったり、学力試験偏重になりやすいことが考えられますので、中学校の進路指導について検討が必要であると考えます。

報告第 28 号 フレンドシップコンサートの開催について

報告第 29 号 公民館・青少年会館等利用者報告について

坂田委員長

報告第 28 号フレンドシップコンサートの開催について、報告第 29 号公民館・青少年会館等利用者報告については書面にて報告とします。本件について、質疑、意見等がありましたら発言願

います。

森生涯学習部理事

フレンドシップコンサートにつきましては、合唱6団体、吹奏楽7団体が参加し、7月15日に岸和田市立浪切ホールで開催します。

森生涯学習部理事

公民館、青少年会館等利用者ですが、平成23年度の利用者数が、平成22年度に比べて若干減少しておりますが、平成23年度から選挙時に投票に来られた方々を利用者として含めないとしたことによることが原因のひとつです。

坂田委員長

報告は以上のようなので、次に案件に入ります。

議案第26号 岸和田市教育委員会評価委員会委員の委嘱について

坂田委員長

議案第26号岸和田市教育委員会評価委員会委員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。

藤原総務課長

本件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項の規定に基づき、同条第1項の点検及び評価を行なうにあたって、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、岸和田市教育委員会評価委員会設置要綱に基づき岸和田市教育委員会評価委員会委員を委嘱するもので、昨年度に引き続き4名の方々を予定しております。委嘱日は平成24年6月6日で、任期は委嘱日から平成26年3月31日までとしております。

坂田委員長

ただ今、説明が終わりました。ご質問、ご意見がありましたら発言願います。

ご異議が無いようですので、原案のとおり承認します。

議案第27号 補正予算について（図書館 事業費補正）

坂田委員長

議案第27号補正予算（図書館事業費補正）について、事務局から説明をお願いします。

佐藤図書館長

本件は、平成24年5月8日、一般社団法人永代太々巴講様から図書購入費に充当のため80万円をご寄附いただきましたので、平成24年第2回定例市議会において補正予算をお願いするものです。

坂田委員長

ただ今、説明が終わりました。ご質問、ご意見がありましたら発言願います。

ご異議が無いようですので、原案のとおり承認します。

その他で何かありませんか。何も無いようですのでこれを持ちまして本日の定例教育委員会を閉会します。

閉会 午後3時45分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

署名委員